

令和6年度美唄市議会報告会における「市政に対する意見・要望」【市政】

① 市民サービス関係

No.	意見・要望	会場での回答	市からの回答	担当課
1	広報紙の配布手数料が無くなって久しいが、復活させることはできないのか。	財政健全化計画以降廃止となっておりますが、元に戻せるものは戻していくものと考えており、執行機関に伝えてまいります。	配布手数料につきましては、協働のまちづくりの観点から、引き続きご協力いただきたいと考えているところであります。 皆さんに市政情報をお届けする方法につきましては、全てを市内各地への配置で行う方法や民間事業者を活用しての全戸配布、電子媒体による配信などの方法も模索しております。現時点では、全戸配布は多額の費用がかかること、請負事業者がいないこと、また、高齢者の多い当市では、紙媒体での配布を望む方が多く、各家庭のインターネット環境や世代などに左右されにくい紙媒体の方に優位性があると考えておりますが、デジタル化がさらに進行していく中で、電子媒体による配布の検討もすすめながら、引き続き検討を重ね、より良い方法となるよう取り組んでまいります。	広報情報推進課
2	子育て世帯はしょうがないから美唄に住んでいるという人が多い。屋内遊技施設のような箱ものだけでない取組が必要と考える。今後の取組について。	子育て支援包括支援センターでは妊娠から育児に関する相談を受けているので活用してください。不妊治療や子ども医療費の助成など様々な子育て支援施策を行っており、屋内遊技施設等の検討もされております。施設だけでない取組についても意見として執行機関に伝えてまいります。	これからの美唄市における子ども・子育て支援施策は、令和7年度からはじまる「第3期美唄市子ども・子育て支援事業計画」を基本に、未来ある子どもたちが健やかで心豊かな人として成長し、夢や希望を持って自らの力を発揮できることはもちろん、親が子育てに対する不安や負担、孤立感を感じることなく、子どもの成長を喜びや生きがいとして感じることができることが大切であると考えております。 そのため、子どもが健やかに生まれ育つことができるよう、子育て家庭への経済的支援のほか、家庭の状況に応じた支援を行いながら、子ども・子育てを地域で応援する環境づくりを進めてまいります。	こども未来課
3	インフル・コロナワクチンについての補助があると施設から言われたが、市からの案内が届くのが遅かった。	これまでも市民に不利益がないよう周知や案内が行われるよう議会から執行機関に意見してきております。改めて伝えてまいります。	高齢者インフルエンザワクチンにつきましては、定期接種のため個別に案内の送付はしておりません。 令和6年度の新型コロナワクチン接種に関する個別の案内につきましては、対象者が約8千人を超え、郵送に時間を要したためお手元に届くのが遅くなった方につきましては、大変ご心配をおかけいたしました。新型コロナワクチンは、すでに高齢者インフルエンザワクチンと同様の「定期接種」となっているため、令和7年度につきましては、個別に案内の送付は行いませんので、広報メロディーや市ホームページなどのお知らせをご確認の上、各自接種をご検討ください。 また、いずれのワクチン接種も、市外の医療機関や施設等で接種を受ける場合は、接種前に保健センターで手続きが必要となりますので、事前にご連絡ください。 今後も接種を希望される方が安全に接種を受けていただけるよう、接種体制の確保とともに周知や案内を行ってまいります。	健康推進課

② 防災関係

No.	意見・要望	会場での回答	回答	担当課
4	自然災害が増えている。避難に関して、自力で避難が困難な方についてはどのようなになっているのか。個別の避難計画についてどうなっているのか。	執行側から正式な計画の提示はされていないところであります。コロナ禍でなかなか進まない状況もありましたが、執行機関に伝えてまいります。	現在、市では個別避難計画の整備に向け、市で管理している「避難行動要支援者名簿」をもとに、緊急時の各救助・捜索機関との連携時に、名簿情報を共有し連携体制を構築するため、各個人から同意書をもらい「避難行動要支援同意者名簿」を作成、さらに特別の支援を必要とされる方を対象とした「個別避難名簿」の作成を進めていくところです。その上で、これらの名簿をもとに、要援護者に対し、適切な避難支援ができるよう「個別避難計画」を取りまとめまいります。	地域福祉課
5	自主防災組織。町内会レベルだと維持が困難だが、自治体で組織率が国から求められている背景があり、解散ができない。また、町内会での自主防災組織の規約が国のもののコピーであり適切でないものもあると思われる。	執行機関に伝えてまいります。	災害対策基本法第5条第2項において、「市町村長は、自主防災組織の充実を図ること、また、同法第7条第3項において、住民は、自ら災害に備えるための手段を講じるとともに、自発的な防災活動への参加等、防災に寄与するように努めなければならない」と規定されており、自主防災組織を設立いただいた地域につきましては、同法の趣旨を理解し設立されたものと理解しております。 自主防災組織については、地域住民の連帯意識に基づく自発的な任意の防災組織のため、各組織の事情により解散を検討される場合は、やむを得ないものと考えており、市として解散を否定するものではありません。 規約の作成にあたっては、不適當な異常気象(本市では想定していない津波や火山災害への対応等)などの規約への記載や会員数に応じた班編成など、それぞれの町内会の実情に即した助言を引き続き行ってまいります。	危機管理対策室

③ 選挙関係

No.	意見・要望	会場での回答	回答	担当課
6	選挙管理委員会について。投票所の立会人については2人必須で13時間。高齢者にはきつい。報酬を上げる等の改善をできないか。	執行機関に伝えてまいります。	令和7年度に行われる選挙から、投票所の終了（閉鎖）時間を繰り上げる検討を進めています。 また、投票所立会人の報酬につきましては、「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律」に基づき決定しており、市独自の報酬の増額改定は予定しておりません。	選挙管理委員会

7	衆議院選挙の時に期日前投票を行おうと考えていたが、投票所の入場券が届いていなかった。	入場券が無くても期日前投票は可能ですが、その点についての周知が十分ではありませんでした。また、今回の衆議院選挙は全国的に入場券が届くのが遅かったという側面もありましたが、今後は周知の不足や入場券の送付が遅れることがないように執行機関に伝えてまいります。	令和6年度の衆議院議員選挙は急な解散により、準備期間も短く、各自治体から入場券印刷等の業務が一斉に業者へ発注されたため、事務遅延の事態となりご迷惑をおかけしました。 近隣自治体の一部では、地元業者への発注により遅延なく対応したところもあったようですが、当市においては、市内印刷業者ではハガキの圧着機がない等のため発注できず、市外業者への発注といたしました。 そのため、「入場券がなくても投票できる」ことを、新聞折込チラシや市ホームページなどで広く周知するなどし対応しましたが、今後は入場券の印刷等を依頼する業者の選定など改めて見直すなど、滞りなく進めることができるよう努めてまいります。	選挙管理委員会
---	---	---	--	---------

④ 病院関係

8	決算の病院事業会計について、収支の表の数字から黒字になる仕組みと、例えば収益的収支に赤字が続いた場合どうなるのかを教えてほしい。	分かりにくい答弁となったため、市からの答弁に代えさせていただきます	病院事業会計には、「損益計算書」・「貸借対照表」・「キャッシュフロー計算書」という、事業の財務状況を把握するうえで重要な3つの決算書類があります。 「損益計算書」では、事業の経営成績を表しており、利益や損失を確認することができますが、その中には減価償却費等の現金支出を伴わない費用や収益なども含まれています。 「キャッシュフロー計算書」では、事業の一定期間における現預金の流入と流出を記録した会計書類のため、実際の現金の動きを確認することができます。 そのため、キャッシュフロー計算書上の現金収支がプラス（黒字）であれば、実質的には黒字とみなすことができます。 また、損益計算書上の赤字が継続し、キャッシュフロー計算書上の現金残高が減少していく状況が続くと、いずれ資金繰りが行き詰まる可能性があります。	病院事務局
9	新病院に良い先生が来ているのに、これまでの悪いうわさが残っている。今後も美唄に残ってもらえるよう、総合診療医の活動や良さを積極的に市民に知らせるべき。	意見として受け止めます。	現在、市立美唄病院のホームページをより見やすいものとするため、全体のサイトマップやデザインなどの見直しを進めています。その中で、総合診療や総合診療医についても、広く皆さんに情報発信してまいります。 また、今後、どなたでも参加できる総合診療医による講演会などの開催を予定しておりますので、その際は、ぜひご参加ください。	病院事務局

⑤ その他

No.	意 見 ・ 要 望		回 答	担 当 課
10	職員確保について、人口減少が進んでいく中でも職員が確保されなくてはならない。将来を見据えた待遇改善をすすめながら職員確保に努めるべき。	執行機関に伝えてまいります。	現在、幅広い人材の確保に向けさまざまな取り組みを進めています。 まずは、市役所が魅力ある就職場所の一つとして選ばれていくために、国公に準拠した待遇の改善や人材育成プログラムの充実のほか、産前産後休暇や育児休業などが安心して取得できるなど、不安なく働ける環境づくりを進めることも必要であると考えています。 人口減少や少子高齢化に伴い、将来にわたり持続可能なまちづくりが求められている中、市民の皆さまの信頼と期待に応えることができるよう、今後とも、計画的な職員採用と必要な人材の確保に努めてまいります。	総務課
11	美唄市のキャッチコピー「美しき唄のまち」だったが現在の取組について芸術分野を含めてどうなっているのか。	「美しき唄のまち」にちなんだコンサート等行われてはいるが、芸術分野の取組は発展途上だと考えております。	美唄市は、「美しき唄のまち」をキャッチコピーに掲げているところでありますが、令和4年度に若者が中心となり「美唄の未来に夢を描く委員会」を立ち上げ、その中で「美唄の軸となる魅力」の言語化を進め、その魅力を広く伝えていくために「Be Beautiful」という新たなキャッチコピーを完成させました。現在は、これらのキャッチコピーを軸に、まちの魅力を発信しています。 芸術分野の取り組みとしては、令和5年度に「芸術文化でまちを美しくしよう。」というワークショップを実施し、市民とともに美唄の文化的な魅力を見つめ直しました。こうした活動を通じて、芸術文化がまちづくりに果たす役割や可能性を共有し、美唄の新たな価値の創出につなげてまいります。	広報情報推進課 生涯学習課
12	民生委員の役割を果たすために75歳以上の後期高齢者の名前だけでも教えてもらいたい。	執行機関に伝えてまいります。	民生児童委員は、民生委員法において、社会福祉を目的とする各種関係機関と密接に連携し、その事業又は活動を支援する業務に協力することと定められており、これに基づき、住民基本台帳の閲覧申請担当課である市民課市民係に対し、民生児童委員協議会連合会長名で住民基本台帳の閲覧申請が行われています。 これにより、各民生児童委員は、連合会事務局に備えられている「住民基本台帳閲覧申請書」を市へ提出することで調べる事が可能となっています。	地域福祉課

13	地区別避難所に指定されている光珠内中央自治会館地域ふれあいセンターや光珠内消防分団詰所は国道の除雪の際に間口がふさがれてしまう	執行機関から国に要望を上げてもらうように伝えてまいります。	光珠内中央自治会館地域ふれあいセンターにつきましては、当該地域の皆さんが地域の集会施設として利用するため、市と地域において維持管理を含めた賃借契約を締結し貸し出しをしている施設のため、通常使用時は引き続き、地域において除雪を含めた維持管理をお願いします。 避難所の開設時においては、「指定・地区別避難所」として避難に支障がないよう市で除排雪対応してまいります。 また、光珠内消防分団詰所の間口除雪につきましては、関係機関と連携し災害出動に支障がないよう適切な対応に努めてまいります。	総務課 危機管理対策室 消防本部
----	--	--------------------------------------	--	---------------------------------------